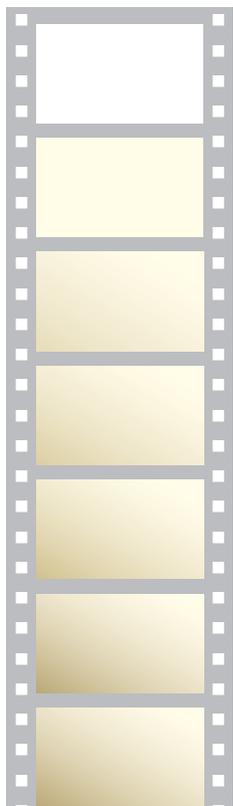
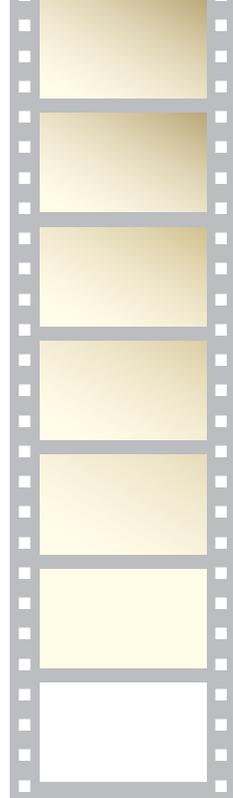


伸^ノさんのシネマトーク

鈴木 伸夫



第四十九回 「ぼくのテーマミュージック」①

「あこがれ」だったDJのアルバイトに採用され、マイクの前に座り、レコード音楽をかけて話をするのが仕事になり、慣れないなかにも楽しく仕事を始めることが出来ました。

この時間は、「ぼくの時間」と強調できるのは何と言ってもオープニングのテーマ曲（ミュージック）ではないでしょうか？

ぼくがレコード店（当時はCDコンパクトディスクは存在しなかった）で初めて購入したレコードは331／3回転、4曲入りのコンパクトレコード盤「ムーヴィー・ラブソングス」（演奏・ヴィクター・ヤング楽団）でした。ぼくは「エデンの東」のメロディーがとても気に入って、自分のテーマ曲をまだ決めていない時、よくテーマ曲として使いました。

そう言えば、「シネマテーク9」ナイン（RABラジオで02年4月～08年6月、全317回放送）の最終回、ラストの曲は「イースト・オブ・エデン」（エデンの東）でした。

自分専用のテーマ曲を見つけた時は曲（ほとんどシングルレコードのB面の曲）に合わせてアナウンスをしたり、録音して語りのテンポに合うか聞いてみたり、いろいろ頭をひねって、テーマ曲に負けないアナウンスをしようと練習したものです。

ところで、これは全くの余談ですが、「順」番とは不思議なものですね。会社の一年先輩だった伊奈かつぺい先輩は「レコードがさきにできているのだから、レコード盤の順番は、A面、次は裏面のB面があり、偶然なことかも知れないが、次は順番通りCDと並ぶ。」と話しています。（誤解のないように書いておきますが、CDとはコンパクトディスクの略語です。）次のページのシングルジャケットは、当時、テーマ曲としてよく使った演奏です。（なぜか、ぼくの時代、ボーカルがなくインストルメンタルばかりでした。）

アルバムD J当時、よく使ったテーマ曲をご紹介します。

※映画「地中海の休日」からサウンドトラック。

※映画「危険がいっぱい」からサウンドトラック（ザ・キャット）演奏、ジミー・

ぼくが使ったテーマミュージックのシングルレコード



左上から

- ◆パペーテの夜明け
- ◆さすらいの口笛／荒野の用心棒
- ◆エデンの東
- ◆紅の翼
- ◆ムーラン・ルージュの歌
- ◆世界一周
- ◆リオの嵐
- ◆飛べ! フェニックス
- ◆バラの乙女／ナイロビ・トリオの唄
- ◆ティファニーで朝食を
- ◆星空のブルース／夢のブルース
- ◆雨の朝パリに死す

スミス（オルガン）

※「テイク・ファイブ」演奏、デイ

ヴ・ブルーベック・カルテット

※「サマーサンバ」演奏、ワルター・

ワンダラー（オルガン）ほか。

（続）

伸

平成24年9月